

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年6月4日

【評価実施概要】

事業所番号	0172901308		
法人名	有限会社 旭川ケアサービス夢		
事業所名	痴呆対応型共同生活介護事業所グループホーム夢		
所在地	北海道旭川市春光台4条9丁目4-3 (電話) 0166-55-2556		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成19年5月31日	評価確定日	平成19年6月19日

【情報提供票より】(平成19年5月18日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・ 平成 15年 9月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	14 人	常勤 12人, 非常勤 2人, 常勤換算	9.9人

(2) 建物概要

建物構造	木造モルタル準耐火 造り 2階建ての ~ 1階部分		
------	------------------------------	--	--

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	28,000 円	その他の経費(月額)	10,000 円
敷金	有 (190,000円) 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,380 円		

(4) 利用者の概要(5月18日現在)

利用者人数	17 名	男性	10 名	女性	7 名
要介護1	3 名	要介護2	7 名		
要介護3	1 名	要介護4	4 名		
要介護5	1 名	要支援2	1 名		
年齢	平均 82 歳	最低	67 歳	最高	94 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	並木通りクリニック
---------	-----------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

緑豊かな住宅街と市内では「福祉村」と呼ばれ福祉施設が多数存在する環境に恵まれた中にあるグループホームである。敷地は広くゆったりとしており、家族や近隣住民、町内会の人達が参加する「夏祭り」の計画もされ地域の人達との交流促進にも取り組まれている。共用空間では壁をキャンパスと見立てて季節毎の貼り絵をしたり、花や樹木、小鳥などを図鑑から切り抜いて利用者と共に自然の中にいるような雰囲気を出し、居室に閉じこもる利用者は殆どいなく居心地良く過ごせる場所となっている。職員は、研修や更なる資格習得に意欲的に取り組む姿勢が伺えた。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価での主な改善課題として、火災避難の緊急時の対応についてあげられていましたが、防火責任者の配置や実技を伴う火災避難訓練の実施が行われ改善されています。
重点項目	今回の自己評価に対する取組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価に取り組む中で、管理者・計画作成担当者は自己評価及び外部評価の意義を理解しておりました。今後は、全ての職員が評価の意義と細目について理解できるように情報共有の仕方を工夫して、関係者すべてが共通認識できるように取り組まれることを期待します。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議の委員は決定していますが、日程調整中のために調査日の段階では会議が開催されていません。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	利用者一人ひとりの健康状態や状況の変化については、来訪時や電話などで報告され見やすい場所に意見箱も設置されています。今後は、利用者それぞれの日頃の暮らしぶりや職員の異動など「たより」や「近況報告」で職員と家族で生活歴などの更なる情報の共有を図れる取組み方法を検討されてみては如何でしょうか。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	町内会にも参加され、ボランティアの受入れも行われています。今後は、ホーム敷地内で近隣住民を招待して焼肉パーティなどの開催も検討されているので、地域との連携を深める為にも、実施されることを楽しみにしております。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	事業所にある運営理念をもとに、月一度開催される職員ミーティングを通じて職員間で話し合われている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	運営理念の掲示や職員ミーティングを通じて理念の実現に向けて取り組んでいる。		今後は、理念の実現を日々朝礼を通じて職員間で唱和などして繰り返し繰り返し理念の共有に取り組んでいく計画なので、実施されることを期待します。
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入や地元の人達との交流に努めている。		今後は、ホーム主催の焼肉パーティなどを計画しており、地域の人達を招待して交流を促進していく計画を予定しているので実施されることを期待しております。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価及び外部評価を実施する意義を理解しているので、今後はさらに全ての職員に理解されるよう取り組むよう考えられている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>知見のある介護従事者、町内会長、家族、利用者等の推進会議の委員も決まり、現在開催日の日程を調整中の段階で会議は開催されていません。</p>		<p>管理者は、運営推進会議を地域の理解と支援を得るための貴重な機会と認識されております。開催できるように積極的に働きかけを行いたいと考えられています。</p>
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>管理者は、市の担当者との相談・連携の取り組みの必要性を理解しており、日頃より取り組むように心掛けている。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>定期的に家族に利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭の報告を含め報告に努めている。</p>		<p>今後は、個々の利用者に応じた家族への定期的な「便り」や近況報告などで意見や連携をさらに深められる取り組みも検討されているので充実されることを期待します。</p>
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族が、意見や苦情等を申し立てられるように意見箱を設置して契約時にも説明している。また、家族とのコミュニケーションの方法についてさらなる取り組みに期待します。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>利用者の安定した暮らしを支援する重要性やダメージを防ぐ配慮について理解されている。</p>		<p>職員の異動について、利用者や家族に対して定期的な個別の便りなどで紹介するなど取り組みを期待します。</p>


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部への研修参加、看護の研修など法人内外の研修の確保に努めている。今後は、さらに職員の段階毎に応じた研修を継続的に実施されていくことを期待します。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同一法人内の他施設との交流や相互訪問等を通じてサービスの質の向上に取り組まれている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人・家族の見学や徐々に馴染めるように居室の配慮や提供するケアについて取り組まれている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は、利用者一人ひとりの思いをケアに活かせるように取り組む姿勢が伺えた。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>アセスメントに基づいて本人の思いを把握している。また、今後は利用者の過去の大切な出来事や経験などの生活歴を把握して一人ひとりの暮らしにより一層活かされていく取り組みも検討されている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>職員ミーティングを月一度開催してそれぞれの意見を反映した介護計画の作成に考慮している。また、ホーム機能を地域に開放していく取り組みも検討されている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>3ヶ月に一度のモニタリングやサービス担当者会議で見直しが行われている。また、状態変化に応じて随時対応している。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>本人や家族の要望に応じて医療機関との連携などが支援されている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	利用者一人ひとりが気軽に相談できる主治医や医療機関との連携が確保されている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	医師、利用者・家族と相談して、利用者一人ひとりのその人らしい暮らしに活かされていくように取り組まれている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりの誇りやプライバシーについては配慮されていることが確認された。また、個人情報の扱いについても本人、家族に同意を得ている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりの過去の大切な出来事や経験などの生活歴を把握して、日常のその人らしい暮らしができるよう取り組まれるよう検討されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	栄養バランス、摂取カロリーについては把握されている。また、利用者が下膳、テーブル拭きなど力量に応じて食事の準備や片付けをしている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は基本的には、週2回であるが利用者の希望などに応じて都度対応している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者一人ひとりの気分転換の為に、本人の希望や力量に応じて買い物や花見、外食などの支援をしている。また、生活歴の把握について充実されるように取り組んでいくことが検討されている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	蕎麦・寿司などの外食や芝桜や桜などの花見、買い物、散歩など戸外に出かけられる支援に取り組まれている。また、畑で菜園などできるように検討されているので実施されるよう期待します。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関、居室に鍵をかけない取り組みがされていることが確認された。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>緊急時に全ての職員が速やかに対応ができるように火災避難訓練など実技を伴う訓練を定期的実施されている。また、地域の人々との交流促進の取り組みも検討されている。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>一日のカロリー摂取量や栄養バランスについては管理している。また、水分・食事摂取量やバイタルチェックなどは具体的に記録をつけて把握している。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用空間は、季節感ができるように飾られて生活感や居心地よく過ごせるように工夫されている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には、使い慣れた家具が持ち込まれたり家族の写真が掲示されたり、安心して過ごせる居場所となっている。</p>		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。